

コミュニティ・スクールだより

令和4年2月18日(金)
山田中学校
学校運営協議会

新型コロナウイルスの影響で混乱する中、校庭の梅の花は満開となり、季節はいつも通り巡ってきます。令和3年度も終盤を迎えました。8日(火)は2年生の立志式でした。立志式では、2年生全員の誓いのことばと「365日の紙飛行機」を手話で発表しました。その後、宮崎花ふぶき一座代表「宮田わかな」氏の記念講演がありました。また、3年生の受験は、県立一般の入試を残すだけとなりました。

さて、2月8日(火)に第4回学校運営協議会(コミュニティ・スクール)が開催されました。この日は、立志式に臨席していただいた後、今年度の本校の教育活動を振り返り、成果と課題について様々なご意見をいただきました。いただいたご意見等を参考にして、次年度以降のよりよい学校づくりに努めていきたいと思っております。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



◇ 第4回学校運営協議会で話題となった内容

1 学力の向上について

- 授業態度に関しては、2学期以降にかけて、学習委員会の学習態度向上週間などの徹底に向けた組織的な取組によりかなり改善してきた。
- 図書館サポーターが勤務する日に国語科との連携で「ポップ(本の広告)」作成や「ブックトーク」等に取り組んだ。本への関心が高まり、図書室利用が増え、貸出冊数が増加した。
- タブレット等の操作が、困難な生徒への指導を工夫していく必要がある。
- メディアを活用した家庭学習の仕方を家庭・学校間で共通理解していく講習会等を設定し、積極的に推進していく。
- キャリア教育の視点に立って進路を意識した指導を強化していく必要がある。(学校支援ボランティアの会やキャリアパスポートの活用を計画的に進める。)

2 豊かな心の育成について

- 明るくあいさつや優しい心遣いができる生徒は多いが、個人差も大きい。言語環境を整え、人権を考えた交流を大事にしたい。
- 交通安全面で、自転車の転倒によるケガや一旦停止が原因による交通事故などがあつた。今後も心配な面がある。交通安全教室を徹底していく。
- 豊かな心の育成として、メディア・コントロール力は育ってきているが、まだまだ継続した取組が求められる。油断はできない。

3 体力の向上について

- 外部からみて、生徒の様子が何について伸びているのかよくわからないので、地域の方に生徒の活躍がわかるような工夫がほしい。
- 昼休みの屋外活動や体育での体力づくりの成果から「持久力」は向上してきたが、「筋力」や「俊敏性」にはまだ課題がある。また、晴天時は、車での送迎が少なく自転車での登校が多くなった。
- 保健面では、保健室への来訪者は昨年度に比べるとかなり少なく良好である。メディアの使用時間との相関関係もあり継続した指導が必要である。

4 地域に貢献する人材の育成について

- ボランティア活動の情報を子どもたちのコメントを載せて、地域には発信すると、さらにボランティア等に参加する生徒が増えるのではないかと。
- 地域に子どもがいない地区は、「山田いきいき通信」等で情報を得ている。
- 山田地区社会福祉協議会の学習支援事業として、10月中旬から3年生放課後学習会の見守り支援をしていただいている。今後も継続した取組を行っていききたい。

5 PTA活動の様子

- 今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参観日や愛校作業等の中止があつたが、体育大会、紫峰祭、立志式、駅伝・ロードレース大会、学校保健委員会などは規模縮小しての開催となり、参加率は約70%でよかった。
- ホームページの配信があまりできなかったため、次年度は、ホームページのメニューの工夫・改善を図り、保護者のPTA活動に対する関心を高める工夫をしていきたい。

6 潟上市との交流について

- 潟上市との交流事業を令和3年12月16日(木)から18日(土)で実施した。来年度は、潟上市から来訪されるので、都城市全体で迎え入れができるように都城市教育委員会と連携を図りながら取組んでいきたい。